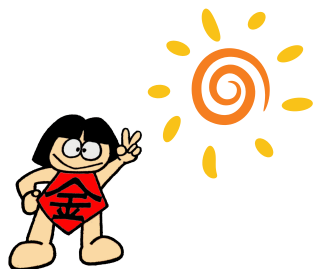


野外教育事業所 ワンパク大学とは

1976年に伊豆七島三宅島の観光施設「人間牧場」で発足した団体です。
当時、都会のもやしっ子という言葉がはやり、テレビのコマーシャルでは「ワンパクでもいい！
たくましく育てほしい！」というキャッチフレーズが使われていた時代でした。
四季の自然の中で「新しい発見・大きな感動」を求め、現在は、東京都新宿区に拠点をおき、
年間を通じて、自然体験活動の企画運営を行っている都市型の自然学校です。
たくましい子どもの象徴として「きんたろう」をキャラクターとし、「大学」と名付けたのは、
様々な年代の人が共に学び、共に成長をする場という思いが込められています。



ワンパク大学の理念

- 「新しい発見・大きな感動」を体験し「生きる力」を身につけ、個性豊かで生き生きとした「ワンパクなひと」を育てるひとづくりを目指します。
- 自然体験活動を通して、地球のすべての「いのち」がよりよく関われるために行動していくことを目指しています。命のつながりを、意識していきます。

ワンパク大学が大切にしている3つの「新しい発見 大きな感動」とは

勇気を出して挑戦！



- 1.自分 自分の新しいチカラを発見し、感動すること
新しいことに挑戦し、できないと思っていたことに取り組み、やり遂げることで、自分に自信を持って成長できる体験をします。
- 2.ひと ひととのふれあいから感動を得て、ひとりで生きていけないことに気づくこと。
少子化、地域交流が少なくなっている現在において、異年齢集団での活動を通して仲間意識、譲り合い、協力を学んでいきます。
- 3.自然 自然の力強さ、美しさ、厳しさ、素晴らしさに感動していくこと。
地球という大きな自然の中で暮らしています。ひとと自然の一部であることを認識し、自然体験活動を通して豊かな感性を育んでいきます。

「ワンパクのちかい」に基づいた、生活指導に力を入れております。
遊びの中にもルールがあることを学び、安全に活動をするための知識や、野外で活動するために必要な技術を丁寧に指導をし「ワンパクな子ども」をめざします。

ワンパク大学の活動の約束 ワンパクのちかい

- ・自分のことは自分でする
- ・最後までやりぬく
- ・友達は大切にする
- ・あいさつは大きな声でする
- ・絶対に泣かない
- ・約束を守る

ワンパク大学がめざす ワンパクな子ども、ひととは？

- ・夢を語り、夢を持ち続ける子ども
- ・心も体もたくましい子ども
- ・五感を使い、身近な自然に気づく子ども
- ・コミュニケーション能力のある子ども
- ・自分から気づき、考え、行動ができる子ども
- ・一生懸命が好きな子ども

当団体は一般社団法人日本アウトドアネットワークの
アウトドア事業者安全評価認証制度によって「セーフ
ティアウトドア事業者」に認証されています。



当団体はNPO法人自然体験活動推進協議会が事務局
を務めるSAFETYOUTDOOR キャンペーン
に参加しています。



当団体はSDGs(持続可能な開発目標)に参加してい
ます。SDGsは2015年9月、ニューヨーク国連
本部において193の加盟国に全会一致で採択された
国際目標です。



日常ではできない体験を！



ホームページには、団体概要・理念・職員紹介・沿革・申込方法・各種書類のダウンロード
などが掲載されております。是非、ホームページをご覧ください。



夏休みがやってきます。ワンパクな夏を体験しましょう！冒険の夏にしよう！

ワンパク大学は今年で49年目の夏を迎えます。子どもたちにとって、楽しみな夏休みです。
どんな夏休みを過ごしたいと考えられているでしょうか。
幼児から小中学生まで、それぞれの年令にあわせて、様々な体験プログラムを用意しました。
すべて宿泊活動です。日帰りでは行けない場所、実施できないプログラム、またはじっくりと
体験できる活動などがあります。お子様にとって、夏休みの冒険は必ず成長につながります。
ぜひお子様を冒険の旅に送り出してください。



代表 三好 利和(ドン・ガパチョ)

参加者の声

- サマーキャンプ全般
・「参加のしおり」にふりがなを丁寧にふって下さっているのが子供が1人でも読んで自分で準備が出来ると共に、スケジュールもわかりやすく、だいたいの内容を理解してから参加することが出来て、より充実した時間を過ごせたと思います。
- ・オンラインアルバムがとても充実しており、閲覧やダウンロードの期限がないことも大変有難く思います。キャンプ中も子どもの様子を知ることが出来るので安心しますし、帰宅後も子どもと一緒に何度も楽しかった時間を振り返ることが出来て、子どもも画像であらためて振り返ることによって思い出がより濃く鮮明になっていると感じます。
- ・カウンセラーの方々が、とにかく細やかに見て下さっているのが伝わり、安心してお預けできる環境だと思います。我が家では、子どもに向かって児童報告書を読み上げているのですが、どのカウンセラーも言葉のチョイスが抜群で、お褒めの言葉をいただける場面があると本人はいつも照れ臭そうにしており、自己肯定感 爆上げに繋がっているなと感じています。



- 島のキャンプ
【三宅島火山島キャンプ】
海での活動のみならず、火山島の地形、生態系などを総合的に体験して学べる、とても練られたプログラムだと感じました。
- 【大島アドベンチャーキャンプ】
大島の海と山、自然を満喫できたようです。キャンプ村作り、電気のない生活、薪拾いからの食事作り等アドベンならではの体験がたくさんで貴重な体験となりました。「不便」な生活や自然の中での活動を楽しいと感じられる子どもになったことが親としてはうれしいです。
- 【大島チャレンジキャンプ】
初めての綺麗な星空に感動したようです。大島キャンプに行けたことが自信になったようです。海で泳いだり、不便なキャンプ生活や船に乗る体験も貴重です。話が止まらないくらいずっと喋ってました。
- 【大島マリンジキャンプ】
自然と娘の口から、親の知らない魚の名前を言及していて、教養がついていることに驚いています。



- 川のキャンプ
【ワイルド川遊びキャンプ】
キャンプ中の写真が随時更新されるので、子どもの様子がよくわかり、チャレンジできたことがよくわかります。1日の振り返りと明日の目標を書くので日々の成長が見えて良い取り組みだと思います。
- 【山と川の探検キャンプ】
キャンプ中、夜にその日の振り返りをしてくださり、本人の描いた絵に少しずつ説明をつけて下さったので、帰ってから、その絵のコメントを見ながら沢山話ができて良かったです。気づきをみんなで話し合う機会があり、しっかり振り返っていたことで帰ってからもしっかり具体的な報告ができたのかなと思いました。
- 【川の探検キャンプ】
1人で寝泊まりできることに自信がついたようで、その後も祖母宅やお泊り保育(保育園行事)なども心配することなく楽しんでいました。

- 乗馬のキャンプ
ただ乗馬を経験するだけでなく、お世話もすることで馬との信頼関係を育てていくということを学べるよいキャンプだと思います。自然の中で、動物と触れ合い、世話をする大変さや、決して贅沢でない環境でたくましく楽しんでくれる姿が最高です！

★食事を作るための燃料の薪！
薪集めは大事な作業なのです



大島アドベンチャーキャンプ

★ニジマスを手づかみして
さばくことも体験し、夕ご
はんのおかずになる！
「命」について考える。



ワイルド川遊びキャンプ

★スノーケリングがはじめての子
もししっかり練習すると、足のつか
ない深い海で、泳ぐことができる
ようになります



大島マリンキャンプ



★檜原村の川の石の下
から生き物を発見！



川の探検キャンプ